

やおし あくとくべんごし おど やちんとりたてゆる  
**八尾市・悪徳弁護士のウソと脅しの家賃取立許すな!**

ぜんこくすいへいどうめいにしごおりし ぶ そうだん  
**まず全国水平同盟西郡支部に相談しよう**



# 11・22こんだん会に参加を

こんだん会 11月22日(土)ひる 2時 八尾北医療センター待合

たかつきしうえきだんち おだ ゆる げんちとうそう  
**11・30高槻市・植木団地の追い出し許すな現地闘争**

11・22労働者集会で発言する植木団地労働組合

11月30日(日)ひる1時  
高槻市植木団地(高槻市川添1丁目)  
当日午前11時に八尾北医療センターから  
車で出発します。一緒に行きましょう。

**安倍を打倒したぞ!**

われわれは安倍を打倒したぞ!  
7・1 集団的自衛権行使の閣議決定に全国で怒りが爆発し、国鉄を軸とした階級的労働運動が前進する中で、沖縄知事選の敗北、アベノミクスは大破産、安倍は総選挙の大博打に追い詰められた。西郡の前代末聞の公安警察300人を動員した強制執行も安倍との闘いでした。8家族は真つ向から対決し、団結を拡大し勝利した。われわれが安倍を打倒した。今こそ新たな住宅闘争に全国で立ち上がり、世の中を変えよう。

悪徳弁護士を使った、詐欺まがいの家賃とりたてを許すな

9月17日付でAさんに、八尾市から取り立てを請け負った弁護士から「10年以上も前に西郡住宅を出て行つ

た弟さんの家賃が滞納になっている。あなたは保証人になっているから、滞納家賃を10月17日までに振り込んで下さい」と請求書が突然送られてきました。「振り込め」って、どこかで聞いたような話です。

Aさんは、保証人になった記憶がないので、そのままにしていたら、弁護士から電話がかかってきて、「当人がダメなら、息子さんの差し押さえをする」と言ってきました。

Aさんは、かんかんになり「保証人になった覚えはない。なんで10年以上も前に出て行った者の家賃を払わなければならぬのか。どうしてもほしければ、本人を探して請求しろ」と抗議しました。

住宅家賃の時効は5年だ。

悪徳弁護士のヒツカケにのらず、まず全国水平同盟に相談しよう

すると今度は10月14日付で、「今回、契約書のコピーを郵送させていただきますので、分割でも構いませんので、お支払を頂きますよ」と、打って変わって猫なで声の郵便を送ってきました。ところが「内容をご確認頂き」と、送られてきた契約書と保証人書は、弟さんが出ていった住宅とは全然別の住宅に弟さんが入居した際の契約書と保証人書でした。

毎月の家賃の時効は5年です。仮に弟さんの「滞納」が本当だったとしても、とっくに時効になっている

滞納家賃取り立てをあげる更地化の手先 共産党

これに対し共産党は今年の3月議会で、「いま、住んでいる方の滞納をそのままにしておいて、出ていった人だけを取り立てる」のではなく現在の入居者から滞納を無くしていくべきだと、取り立て、追い出しをあおって質問しています。これに答えて、住宅管理課長は「現に住んでいる方については、強力的に滞納の処理(取り立て)をやっている」「それでも、どうしても納めていただければ、訴え(裁判)を提起して、住宅から出ていただく」と応じています。全住民の住宅追い出し・更地化をあげる八尾市、共産党を許すな。

取り立て、分納に対して一人でも悩まず全国水平同盟に相談しよう



**全国水平同盟西郡支部  
八尾北医療センター労組  
関西合同労組大阪東部支部**

全国水平同盟の旗の下に団結しよう  
連絡先：八尾市高砂町3-85-6(新住所です)  
電話・FAX：072-991-7729  
ブログ<http://nisiigoorisibu.cocolog-nifty.com/blog/>  
Eメール：[zensuidomei@yahoo.co.jp](mailto:zensuidomei@yahoo.co.jp) 11/18発行

「滞納」、「分納」、「取り立て」で苦しんでいるみなさん。一人で悩まず、全国水平同盟・西郡支部に相談してください。生きさせろ！団結してすべてを奪いかえそう。ともに闘い、一緒に生きていきましょう。

### 「人口減少は、応能応益家賃制度に原因があると自治振」も認められた

『西郡自治振だより・9月号』は、「若者の減少の一因に就職や結婚後に地域を離れていくケースもあります。応能応益家賃制度の導入によって家賃が高騰し、地域外に移っていった人もいます」と書いています。この若者家族がムラを出ていかざるを得なくしている原因こそ応能応益家賃制度です。

家賃が世帯収入の合計で決まるため、働く若者の収入があると所得が高くなり、最高家賃になってしまふ。だから親子と一緒に住めず、若者が出て行ってしまい、高齢者が取り残されてしまったのです。『自治振だより』

も危機感をつのらせているように「この20年間で桂小学校区の人口は約1700人(約36%)減少し、15歳未満の子どもは約500人減少、65才以上の人口は逆に約550人増

9月19日、大阪高裁は「本件住宅の即時の明渡しを受ける高度の必要性がある」とまでは認められないことから、これを付すること

## 住宅追い出しの仮執行は違法だ！大阪高裁は仮執行を否定した

は相当でない。したがって、本件住宅及び本件駐車場の各明渡しに係る仮執行宣言を付した部分についてはこれを取り消すこととする」という判決を下しました。八尾市の8家族に

加しました。このように西郡の人口が減少し、八尾市内で一番高齢者の割合が多く、子どもの割合が一番少ない地域になってしまったのは、国・八尾市、それと「見返り」と引き換えにこのムラを売り渡した地区協・吉村議員らによる応能応益家賃制度導入です。地区協を打倒し、この家賃制度を変えない限り、「明るく住みよい街づくり」も、「地域の抱えている課題」(『自治振』)の根本的解決もありません。

### 更地化 西郡農村攻撃を絶対許さない

西郡の急激な人口減少、少子高齢化は、応能応益家賃制度導入をテコにして公営住宅を廃止・民営化し、更地化していくために意図的・政策的に作られた



9・21西郡と高槻の闘いが合流しデモ

ものです。後継者となる若者を先にムラから追い出し、取り残された高齢者を住み替えさせ、一定の限られた団地に押し込み、カラになった団地をつぶして広大な更地にしていく。大恐慌で破綻し

## 大阪高裁は仮執行を否定した

は、不当な強制執行をした責任をどうとするのだ! 8家族に対して謝罪せよ! 「本当にゆるせない、必ず仇を討つ」とますます闘志を燃やしています。団結の力で必ず打ち破る。

たゼネコンや銀行などの大資本を救済し、さらには、八尾市の財政破たんを穴埋めのために土地を売り飛ばす。1〜5棟はすでに廃止・更地化されています。6〜8棟、店舗付1〜3棟が更地化の「第一グループ」、さらに「第二グループ」は12〜18棟です。絶対許せません。8家族を先頭とする応能応益家賃制度を反対の18年間の闘いは、この西郡更地化と真つ向から対決する闘いとして闘われてきました。まさに西郡みんなの闘いです。

### 更地化 農村攻撃を打ち破る全国水平同盟 西郡支部を軸に新たな団結を作りだそう

西郡8家族に対する、「死ね」とばかりに襲いかかった悪辣・非道極まりない現に住んでいる住宅を奪い取る攻撃は、絶対に許せません。7月31日には200人、8月26日には300人、大阪府警公安三課(京都大学の学生はこの公安警察と同じ奴らを取り押さえたのです。)を先頭にして西郡に突っ込んできた住宅追い出し強制執行攻撃は、八尾市や安倍政権の追いつめられた姿です。



10月26日東京新聞記事。母娘心中に追いこんだのは国と行政だ!

### 「家ええば生きていけない」

右新聞記事の銚子の例のように、公営住宅の民営化・応能応益による住宅追い出しは、「死んでしまえ」という攻撃です。全国で住宅追い出しへの怒りが渦巻いています。

7〜8月の西郡に対する強制執行攻撃は、8家族の団結が拡大することを恐れ、破綻した新自由主義・資本家たちが一切の犠牲を労働者に転嫁し生き残るための民営化、総非正規職化攻撃と一体になった更地化攻撃です。たてつく者・拠点をおしつぶし「戦争」のできる国、する国」を作る攻撃です。これを力づくでゴリおしするために、危機に陥った国家権力が直接のり出してきてきたのです。8家族と西郡支部は国家権力と真つ向から

激突し、誰一人屈することなく、団結を高槻市富田園芸協同組合・全国水平同盟高槻支部結成に拡大し、大阪高裁に「仮執行宣言を取り消す」と言わしめたのです。7〜9月の闘いを通して全国水平同盟西郡支部がムラの責任勢力として完全にぶつ立った。古い解放運動地区協を打倒し、大きな全国水平同盟西郡支部を建設しよう。墓穴を掘った八尾市と国を相手に新たな住宅闘争にたちあがろう。

### 安倍打倒! 全国に水平同盟の旗を立てよう

「人の命よりも金儲け」の新自由主義と安倍ノミクスが破綻し、国鉄闘争を軸にした階級的労働運動を解体できないまま、集団的自衛権行使、改憲・戦争に絶望的に踏み込んだ安倍政権は、労働者・人民の逆鱗にふれ、今やボロボロになり打倒されたのです。生きさせる! すべてを奪い返すぞ! 青年労働者を先頭に労働組合を作って闘おう。八尾北医療センター労働組合を拠点に、絶対反対の団結を八尾市、現業、高槻市、全国に拡大して世の中を根本から変えよう。11・30植木団地追い出し許すな! 現地大闘争に決起しよう。